

京都市子育て支援に関する市民ニーズ調査（小学校入学前児童用）

調査票（案）

■宛名のお子さんご家族の状況についてお聞きます。

問 1 宛名のお子さんの生年月を記入してください。

平成（ ）年（ ）月生まれ

問 2 お住まいの区に○をつけてください。また、お住まいの小校区を記入してください。

- | | | |
|----------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 北 区 | 2. 上京区 | 3. 左京区 |
| 4. 中京区 | 5. 東山区 | 6. 山科区 |
| 7. 下京区 | 8. 南 区 | 9. 右京区（京北地域除く） |
| 10. 右京区（京北地域） | 11. 西京区（洛西支所管内除く） | 12. 西京区（洛西支所管内） |
| 13. 伏見区（深草・醍醐支所管内除く） | 14. 伏見区（深草支所管内） | 15. 伏見区（醍醐支所管内） |

⇒ お住まいの小校区 学区

※小校区がわからない場合は、空白のままで結構です。

問 3 家族の人数（ご自分や宛名のお子さんも含む。）を記入してください。

家族全員	子どもの数		
	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生以上の子ども
人	人	人	人
	末子の生年月 平成（ ）年（ ）月		

問 4-1 宛名のお子さんとの同居・近居の状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください（続柄は宛名のお子さんからみた関係）。

- | | | | |
|---------|----------------|----------------|-----------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居（ひとり親家庭） | 3. 母同居（ひとり親家庭） | 4. 祖父同居 |
| 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 | 7. 祖母近居 | 8. その他（ ） |

※ 「近居」は、自家用車や公共交通機関等を使用し、概ね30分以内で行き来できる範囲

問 4-2 宛名のお子さんの父母の生年月を記入してください。

父	母
昭和・平成（ ）年（ ）月生まれ	昭和・平成（ ）年（ ）月生まれ

問 5 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害や介護等により支援が必要な方がいる場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください（続柄は宛名のお子さんからみた関係）。

- | | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|------------|------|
| 1. いない | 2. 本人 | 3. 父 | 4. 母 | 5. 兄 | 6. 姉 |
| 7. 弟 | 8. 妹 | 9. 祖父 | 10. 祖母 | 11. その他（ ） | |

問6 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～同年12月31日の期間）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 0～100万円 | 2. 101万円～200万円 |
| 3. 201万円～300万円 | 4. 301万円～400万円 |
| 5. 401万円～500万円 | 6. 501万円～600万円 |
| 7. 601万円～800万円 | 8. 801万円～1,000万円 |
| 9. 1,001万円以上 | |

問7-1 日々の生活における子育てにかけられるお金について、他の生活に係る費用などと比べ、優先度をどのようにお考えですか。（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 最も優先すべき | 2. できるなら優先すべき |
| 3. 他に優先すべきことがある | 4. わからない |

問7-2 世帯のお子さん全員の子育てについて、1ヶ月にどのくらいの費用がかかりますか。おおよその金額（幼稚園の就園奨励費や子ども医療費支給制度による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実際に負担した額）を記入してください。

- | | | | |
|-------------------------------------|----|---|-------|
| 1. 幼稚園や保育施設等（保育園（所）、小規模保育、認可外保育施設等） | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 2. 学校（給食費、授業料、教材費等） | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 3. 習い事や塾 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 4. 学童クラブ事業等 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 5. 医療 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 6. その他（ ） | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |

問8 日々の生活における子育てにかけられる時間について、優先度をどのようにお考えですか。（それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 最も優先すべき | 2. できるなら優先すべき |
| 3. 他に優先すべきことがある | 4. わからない |

問9-1 日頃、お子さんを預けられる人について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）を記入してください。

- | |
|---|
| 1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる
週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで |
| 2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで |
| 4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない （→ 問10へ） |

- １．祖父母等に預かってもらうことについては、特に問題はない
- ２．祖父母等の負担が大きく心配である
- ３．祖父母等と子どもの育て方，教育方針が異なるのが気にかかる
- ４．その他（ ）

1. 友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人や知人の負担が大きく心配である
3. 友人や知人と子どもの育て方、教育方針が異なるのが気にかかる
4. その他（ ）

	父	母	祖父	祖母	その他
洗濯をする	1	2	3	4	5 ()
食料品等の日常的な買い物をする	1	2	3	4	5 ()
家族や子どもの食事をつくる	1	2	3	4	5 ()
子どもに食事を食べさせる	1	2	3	4	5 ()
子どもを風呂に入れる	1	2	3	4	5 ()
子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5 ()
子どもの衣類（おむつ）を替える	1	2	3	4	5 ()
幼稚園・保育施設等や習い事・塾等の送り迎えをする	1	2	3	4	5 ()
子どもを寝かしつける	1	2	3	4	5 ()
子どもをしつける	1	2	3	4	5 ()
子どもに本を読み聞かせる	1	2	3	4	5 ()
予防接種や健診に連れて行く	1	2	3	4	5 ()
子どもが病気の際に看病したり病院に連れて行ったりする	1	2	3	4	5 ()
子ども会や子育てサークル、町内会や地蔵盆等の子育てに関する地域活動に参加する	1	2	3	4	5 ()

■宛名のお子さんのお父さん、お母さんの就労状況についてお聞きます。

問 11-1 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）をお聞きます。当てはまる番号 1 つだけに ○ をつけてください。あわせて、〔 〕に数字（時間の場合は、「18 時頃」のように 24 時間制で）を記入してください。

* 「フルタイム」は 1 週 5 日・1 日 8 時間程度の就労

父	母
1. 就労している（フルタイム） → 1 週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1 週当たり 〔 〕 日 1 日当たり 〔 〕 時間 家を出る時間 〔 〕 時頃 帰宅時間 〔 〕 時頃	1. 就労している（フルタイム） → 1 週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1 週当たり 〔 〕 日 1 日当たり 〔 〕 時間 家を出る時間 〔 〕 時頃 帰宅時間 〔 〕 時頃
2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中	2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） → 1 週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1 週当たり 〔 〕 日 1 日当たり 〔 〕 時間 家を出る時間 〔 〕 時頃 帰宅時間 〔 〕 時頃 → フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい	3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） → 1 週当たりの平均の就労時間、働いている日の平均的な出勤時間と帰宅時間 1 週当たり 〔 〕 日 1 日当たり 〔 〕 時間 家を出る時間 〔 〕 時頃 帰宅時間 〔 〕 時頃 → フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい
4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中 → フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい	4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中 → フルタイムへの転換希望等がありますか。 ① 希望している ② 希望しているが転換できる見込みはない ③ パートタイム、アルバイト等での就労を継続したい ④ 就労をやめたい
5. 現在就労していない （→ 問 11-2, 3へ）	5. 現在就労していない （→ 問 11-2, 3へ）

問 11-2 問 11-1で「5」に該当する方についてお聞きします。その方が、現在就労していない理由について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

	父	母
配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため	1	1
子育てのため	2	2
家族・親族等の看護・介護のため	3	3
健康上の問題があるため	4	4
働きたいが、家族の理解が得られないため	5	5
条件にあった仕事が見つからないため	6	6
その他（（ ）内に理由を記載してください。）	7 〔 〕	7 〔 〕

問 11-3 問 11-1で「5」に該当する方についてお聞きします。その方の今後の就労の希望について、当てはまる番号1つだけに○をつけてください。あわせて、〔 〕に数字を記入してください。

父	母
1. 就労は希望していない	1. 就労は希望していない
2. 1年より先、末子が〔 〕歳ぐらいになったら就労したい。	2. 1年より先、末子が〔 〕歳ぐらいになったら就労したい。
3. 1年以内に就労したい →（「2」又は「3」の場合）希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間	3. 1年以内に就労したい →（「2」又は「3」の場合）希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間

■宛名のお子さんの平日の幼稚園・認定こども園・保育施設等の利用についてお聞きます。
問 12 の各設問については、以下の幼児教育無償化が実施されることを想定して御回答ください。

来年 10 月から、幼児教育無償化（すべての 3 ～ 5 歳児及び市民税非課税世帯の 0 ～ 2 歳児に係る、幼稚園授業料・保育所保育料等が対象）が本格実施されることが国において予定されています。

＜幼児教育無償化の範囲（国から示されている案）＞

幼稚園（認定こども園の幼稚園部分の利用者を含む）：月額 25,700 円まで補助

※（共働き家庭、ひとり親で働いている家庭等で幼稚園の預かり保育を利用する場合は、
預かり保育に係る費用を含めて月額 37,000 円まで補助）

保育所（認定こども園の保育所部分の利用者を含む）：1 日 11 時間の利用まで無償

認可外保育施設：月額 37,000 円まで補助

問 12-1 宛名のお子さんは、現在平日に幼稚園・認定こども園・保育施設等を定期的に利用していますか。

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 利用している | (→ 問 12-2, 3, 4へ) |
| 2. 利用していない | (→ 問 12-5へ) |

問 12-2 問 12-1 で「1」を選んだ方にお聞きます。現在、どのような施設等を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、主に利用している施設等について、「現在」と「希望」の利用日数・時間を（ ）内に数字（時間の場合は、「9 時～18 時」のように 24 時間制）で記入してください。

- | |
|--|
| 1. 幼稚園（通常の通園時間の利用） |
| 2. 幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）（通常の通園時間に加え、年間通じてほぼ毎日預かり保育を利用） |
| 3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用）（通常の通園時間に加え、必要なときだけ預かり保育を利用） |
| 4. 認定こども園 |
| 5. 保育園（所） |
| 6. 小規模（家庭的）保育事業所（定員 19 人以下の京都市認可保育事業所） |
| 7. 事業所内保育施設 |
| 8. 認可外保育施設 |
| 9. ベビーシッター |
| 10. その他（ ） |

主に利用している施設等 （上記の番号を記入）	利用日数・時間	
	現在	希望
	現在	
	希望	
	現在	
	希望	

1. 幼稚園（通常の通園時間の利用）
2. 幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）（通常の通園時間に加え、年間通じてほぼ毎日預かり保育を利用）
3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用）（通常の通園時間に加え、必要なときだけ預かり保育を利用）
4. 認定こども園
5. 保育園（所）
6. 小規模（家庭的）保育事業所（定員19人以下の京都市認可保育事業所）
7. 事業所内保育施設
8. 認可外保育施設
9. ベビーシッター
10. その他（



利用したい順番に、施設・事業所を3つまで選択し、1～10のいずれかを記入してください。

① _____

② _____

③ _____

1日当たり()時間【()時～()時】

1. 子どもの父か母が世話をしているため利用する必要がない
2. 子どもがまだ小さいため利用していない（_____歳くらいになったら利用しようと考えている）
3. 子どもの祖父母や親戚の人に子どもを預けていて利用する必要がない
4. 近所の人や父母の友人・知人に子どもを預けていて利用する必要がない
5. 利用したいが、利用したい幼稚園・認定こども園・保育施設等の定員に空きがない
6. // 経済的な理由（保育料・教材費が高いなど）で利用していない
7. // 利用したい時間帯と教育・保育の実施時間が合わない
8. // 質に納得できる幼稚園・認定こども園・保育施設等が見つからない
9. その他（_____）

1. 長期休業期間中、ほぼ毎日利用している (→ 問12-7, 8へ)
2. 長期休業期間中、週に数日利用している (→ 問12-7, 8へ)
3. 長期休業期間中、幼稚園が預かり保育を実施しているが利用していない
4. 長期休業期間中は、幼稚園が預かり保育を実施していない

1. 就労のため子どもをみる人がいなくなるから
2. お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、就労予定がある／求職中である
3. // 家族・親族等を介護している
4. // 病気や障害がある
5. // 学生で、授業等がある
6. 家事や買い物・家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため
7. その他（)

現在	1 日当たり () 時間【 () 時～ () 時】
希望	1 日当たり () 時間【 () 時～ () 時】

1. 幼稚園（通常の通園時間の利用）
2. 幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）（通常の通園時間に加え、年間通じてほぼ毎日預かり保育を利用）
3. 幼稚園＋預かり保育（たまに利用）（通常の通園時間に加え、必要なときだけ預かり保育を利用）
4. 認定こども園
5. 保育園（所）
6. 小規模（家庭的）保育事業所（定員１９人以下の京都市認可保育事業所）
7. 事業所内保育施設
8. 認可外保育施設
9. ベビーシッター
10. その他（ ）



1. 利用したい
(→ 利用したい順番に、施設・事業所を3つまで選択し、1～10のいずれかを記入してください。)

① _____ ② _____ ③ _____

2. 利用したくない

問 13-2 問 13-1で「1. 利用したい」を選んだ方にお聞きします。施設等を利用したいと考えている理由について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子どもの教育等のため	
2. お子さんの身の回りの世話を主にしている人が、現在就労している	
3. //	現在より就労日数や時間を増やしたい
4. //	就労予定がある／求職中である
5. //	そのうち就労したいと考えている
6. //	家族・親族等を介護している
7. //	病気や障害がある
8. //	学生で、授業等がある
9. 家事や買い物・家庭の用事等、自由のさく時間が一定必要なため	
10. その他（	）

問 13-3 問 13-1で「1. 利用したい」を選んだ方にお聞きします。利用する幼稚園・保育施設等を選択するときに重視するかどうか、各項目につき、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

	重視 する	少し 重視 する	どちら とも 言え ない	あまり 重視 しない	重視 しない
教育内容	1	2	3	4	5
自宅・職場から近いなどの地理的条件	1	2	3	4	5
通園バスによる送迎の有無	1	2	3	4	5
給食の有無	1	2	3	4	5
保育士、教職員等の体制	1	2	3	4	5
施設・設備の良さ	1	2	3	4	5
保育料、教材費等の金額	1	2	3	4	5
教育・保育の実施時間（幼稚園の預かり保育の時間を含む。）の長さ	1	2	3	4	5
夏休み等の長期休暇期間中の預かりの有無	1	2	3	4	5
低年齢児（0～2歳）の受入れの有無	1	2	3	4	5
少人数で家庭的な雰囲気かどうか	1	2	3	4	5
障害のある子どもの受入体制が充実しているかどうか	1	2	3	4	5
宛名のお子さんの兄弟姉妹や、友人・知人の子どもが通っている（通っていた）施設かどうか	1	2	3	4	5

■宛名のお子さんの土曜日や日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望についてお聞きします。

問 14－1 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育施設等の利用（一時的な利用は除く。）を希望しますか。それぞれ最も当てはまる番号 1 つに○をつけ、希望する場合は利用したい時間帯（「9 時～18 時」のように 2 4 時間制で）を記入してください。

土曜日	1. 毎週利用したい 2. 月に 1～2 回は利用したい	 利用したい時間 () 時 () 分から () 時 () 分まで
	3. 利用希望はない (→ 問 15－1 へ)	
日曜日・祝日	1. 毎週利用したい 2. 月に 1～2 回は利用したい	 利用したい時間 () 時 () 分から () 時 () 分まで
	3. 利用希望はない (→ 問 15－1 へ)	

問 14－2 問 14－1 で「1」又は「2」を選んだ方にお聞きします。土曜日、日曜日・祝日にお子さんを預けたい主な理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 就労のため子どもをみる人がいなくなるから	
2. お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、就労予定がある／求職中である	
3. //	家族・親族等を介護している
4. //	病気や障害がある
5. //	学生で、授業等がある
6. 家事や買い物・家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため	
7. その他 ()	

■宛名のお子さんの病気・病後時の対応についてお聞きします。

問 12－1（平日の幼稚園・認定こども園・保育施設等の利用の有無に関する設問）で「1」（平日に幼稚園・保育施設等を定期的に利用している）を選んだ方にお聞きします。

問 15－1 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気や病気の回復期であるために、幼稚園・認定こども園・保育施設等を利用できなかったことがありましたか。

1. あった	
2. なかった (→ 問 16－1 へ)	

問 15-2 問 15-1で「1」を選んだ方にお聞きします。この1年間の対処方法とそれぞれの年間通算日数は概ね何日ですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

1. 父が休んだ	() 日	} 1～4は、 (→問 15-3へ)
2. 母が休んだ	() 日	
3. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた	() 日	
4. 子どもを仕事に同行させた	() 日	
5. 病児・病後児保育事業を利用した	() 日	
6. ベビーシッターを頼んだ	() 日	
7. ファミリーサポート事業を利用した	() 日	
8. その他 () () 日		
9. 就労していない母又は父がみた	() 日	

問 15-3 問 15-2で「1」～「4」を選んだ方にお聞きします。その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたが、また利用したい場合、その日数は1回当たりどれくらいですか。枠内に日数を記入してください。

1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい → () 日 (→問 15-4, 5へ)
2. できれば家庭等で面倒を見てあげたい(利用したいと思わない)

問 15-4 問 15-3で「1」を選んだ方にお聞きします。病気又は病後の子どもを預ける場合、どのような事業の利用を希望しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業
2. 保育園(所)等に併設した専用スペースで子どもを保育する事業
3. 看護師、保育士等1名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業
4. 地域住民が子どもの居宅等の身近な場所で、子どもを預かる事業(例:ファミリーサポート事業)
5. その他 ()
6. 特に事業形態に関する希望はない

問 15-5 問 15-3で「1」を選んだ方にお聞きします。病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた	2. 親族・知人に預けることができた
3. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	4. 事業実施施設に空きがなかった
5.	
7. 利用料がかかる・高い	8. 事業の質に不安がある
9. 事業の利用方法や事業実施施設がわからない	10. そのような事業があることを知らなかった
11. その他 ()	

問 15-6 問 15-2 で「3」から「8」のいずれかを選んだ方にお聞きます。仕事を休めなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 仕事が忙しくて休めなかった | 2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった |
| 3. 自営業なので休めなかった | 4. 休暇日数が足りないので休めなかった |
| 5. その他（ | ） |

■宛名のお子さんの宿泊を伴わない日中の一時預かりについてお聞きます。

問 16-1 宛名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。利用したことがある事業の番号すべてに○をつけ、（ ）内にそれぞれの日数（半日程度でも1日としてカウント）を記入してください。

- | | | |
|-----------------------|-------|---------------|
| 1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた | （ ）日 | } (→問 17-1 へ) |
| 2. 保育園（所）、認定こども園の一時保育 | （ ）日 | |
| 3. 幼稚園の預かり保育（不定期利用のみ） | （ ）日 | |
| 4. ファミリーサポート事業 | （ ）日 | |
| 5. ベビーシッター | （ ）日 | |
| 6. その他（ | ）（ ）日 | } (→問 16-2 へ) |
| 7. 利用していない | | |

問 16-2 問 16-1 で「7」に○をつけた方にお聞きます。現在利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 特に利用する必要がない | |
| 2. 事業実施施設に空きがない | |
| 3. 利用したい時間帯と事業の実施時間（一時保育：原則月曜日～土曜日の8時～17時）が合わない | |
| 4. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない | |
| 5. どこで実施しているかわからない | |
| 6. 利用料がかかる・高い | |
| 7. 事業の質に不安がある | |
| 8. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない | |
| 9. そのような事業があることを知らなかった | |
| 10. その他（ | ） |

問 17-1 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、事業を年間何日ぐらい利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について、該当する番号に○をつけ、()内に希望日数(半日程度でも1日としてカウント)を記入してください。

1. 利用希望がある → 年間 () 日 (→問 17-2 へ)
(理由別) ① 私用, リフレッシュ目的 () 日 ② 冠婚葬祭, 兄弟姉妹の学校行事, 保護者や兄弟の病気等 () 日 ③ 不定期の就労 () 日 ④ その他 () () 日
2. 利用希望はない (→問 18-1 へ)

問 17-2 問 17-1 で「1」に○をつけた方にお聞きます。日中に一時的にお子さんを預ける場合に利用したい事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・認定こども園・保育施設等で子どもを一時的に保育する事業
2. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業(例：ファミリーサポート事業)
3. その他 ()
4. どのような事業でもよい

■宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについてお聞きます。

問 18-1 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと(預け先が見つからなかった場合を含む)はありましたか。

1. あった (→ 問 18-2 へ)
2. なかった (→ 問 19-1 へ)

問 18-2 問 18-1 で「1」を選んだ方にお聞きます。この1年間の対処方法について、当てはまる番号すべてに○をつけ、泊数を記入してください。

1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた () 泊 (→ 問 18-3 へ)
2. ショートステイ事業を利用した () 泊
3. 認可外保育施設を利用した () 泊
4. ベビーシッターを利用した () 泊
5. 仕方なく子どもを同行させた () 泊
6. その他 () () 泊

問 18-3 問 18-2 で「1」を選んだ方にお聞きます。その際は預かってもらいやすい状況でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 預かってもらいやすかった(特に預かってもらいにくくはなかった)
2. どちらかというと、預かってもらいにくかった
3. とても預かってもらいにくかった

■**地域の子育て支援のための事業の利用等についてお聞きます。**

問 19－1 地域の子育て支援事業の利用等についてお聞きます。下表の事業ごとにA及びB－1の当
てはまるものすべてに○をつけてください。

また、すでに利用している場合は、「現在」と「希望」の利用回数をB－2の（ ）内に数
字で記入してください。

	A 知って いる	B－1 利用し ている	B－2 利用している場合のおおよその利用回数	
			現在	希望
子育て支援活動いきいき センター（つどいの広場）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
児童館（乳幼児クラブ）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
京都市営保育所（地域で の子育て支援活動）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
民営保育園、認定こども 園（地域での子育て支援 活動）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
京都市立幼稚園（教育相 談）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
私立幼稚園（地域子育て 相談事業）			現在	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回
			希望	1 週当たり（ ）回 又は 1 月当たり（ ）回

問 19－2 問 19－1 の B－1 に○をつけなかった方（いずれの事業も利用していない方）にお聞きし
ます。現在利用していない理由として最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 既に宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため 2. 利用する時間がない 3. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない 4. 自宅の近くで事業を実施していない 5. 地域で実施している事業の質に不安がある 6. どこで実施しているかわからない 7. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない 8. そのような事業があることを知らなかった 9. その他 （ ） 10. 特に理由はない

問 19－3 問 19－1 の B－1 に○をつけなかった方（いずれの事業も利用していない方）にお聞きし
ます。今後、これらの事業の利用を希望しますか。

1. 利用したい	2. 特に利用を希望しない
----------	---------------

問 20-1 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の設置・運営を行っています。宛名のお子さんは、これまでに児童館を利用したことがありますか。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 利用している／利用したことがある | (→ 問 20-2, 4へ) |
| 2. 児童館は知っているが、利用したことはない | (→ 問 20-3, 4へ) |
| 3. 児童館を知らなかった | (→ 問 21-1へ) |

問 20-2 問 20-1で「1」を選んだ方にお聞きします。どのような目的で利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 乳幼児クラブに参加するため | 2. 母親クラブに参加するため |
| 3. 子育て相談のため | 4. 1～3に該当しないが、子どもを遊ばせるため |
| 5. その他 (|) |

問 20-3 問 20-1で「2」を選んだ方にお聞きします。宛名のお子さんが児童館を利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 既に宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため |
| 2. 利用する時間がない |
| 3. 利用したい時間帯と開館時間が合わない |
| 4. 自宅の近くにない |
| 5. どこにあるかがわからない |
| 6. 開館時間がわからない |
| 7. 児童館でどういう事業を実施しているのかがわからない |
| 8. 利用方法(手続き等)がわからない |
| 9. 乳幼児も利用できることを知らなかった |
| 10. 小学生以上の子どももいるので乳幼児が利用するのは不安である |
| 11. 事業の質に不安がある |
| 12. その他 (|
| 13. 特に理由はない |

問 20-4 問 20-1で「1」又は「2」を選んだ方にお聞きします。児童館を利用しやすくするために期待することについて、最も当てはまる番号に○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 施設や活動内容のPRの充実 |
| 2. 乳幼児クラブの実施回数の充実 |
| 3. 母親クラブの活動促進 |
| 4. イベントや催し物等の充実 |
| 5. 日・祝日の開館や開館時間の延長等、利用しやすい開館時間の設定 |
| 6. 子育て相談しやすい環境づくり |
| 7. 子育てサークルの自主的な活動スペースの提供 |
| 8. その他 (|

問 21-1 ファミリーサポート事業の利用について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 利用している/利用したことがある | (→ 問 21-2, 3へ) |
| 2. 会員登録はしているが、利用したことはない | (→ 問 21-4, 5へ) |
| 3. 利用したことはない | (→ 問 21-4, 5へ) |

問 21-2 問 21-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。事業の利用目的について、当てはまる番号すべてに○をつけください。

1. 主たる保育事業として利用している
2. 幼稚園・認定こども園・保育施設等の開始前や終了後に子どもを預かってもらっている
3. 子どもが軽度の病気あるいは病気回復期に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭や買い物等の外出の際に利用している
6. 幼稚園・認定こども園・保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的（ ）で利用している

問 21-3 問 21-1 で「1」を選んだ方にお聞きします。現在どの程度利用しており、希望としてはどのくらい利用したいか、（ ）内に数字を記入してください。

現在	1月当たり（ ）回	1回当たり（ ）時間程度
希望	1月当たり（ ）回	1回当たり（ ）時間程度

問 21-4 問 21-1 で「2」又は「3」を選んだ方にお聞きします。利用していない理由として、当てはまるものの番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない／なかった
2. 会員登録をしなければならない
3. 事前説明会に参加しなければならない
4. 急に利用しにくい
5. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない
6. 利用料がかかる・高い
7. 事業の質に不安がある
8. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない
9. そのような事業があることを知らなかった
10. その他（ ）
11. 特に理由はない

問 21-5 問 21-1 で「2」又は「3」を選んだ方にお聞きします。今後、利用したいですか。

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 利用したい | 2. 特に利用を希望しない |
|----------|---------------|

問 22 以下の子ども・子育て支援に関する事業・施設の利用等についてお聞きます。下表の事業・施設ごとに、A～Cの当てはまるものすべてに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに 利用したこと がある	C 今後利用 したい
1. 保健福祉センター（子どもはぐくみ室）でのプレママ・パパ教室			
2. プレママバッチ・プレマママーク			
3. 保健福祉センター（子どもはぐくみ室）での親子で楽しむ健康教室			
4. 保健福祉センター（子どもはぐくみ室）によるこんにちはプレママ事業（初妊婦等訪問）			
5. 保健福祉センタ（子どもはぐくみ室）による新生児等訪問指導事業（こんにちは赤ちゃん事業）			
6. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）			
7. 保健福祉センター子どもはぐくみ室における子育て相談			
8. 子育て支援総合センターこどもみらい館			
9. 地域子育て支援ステーション			
10. こども虐待SOS専用電話			
11. 京（みやこ）あんしんこども館			
12. 青少年科学センター親子ふれあいサイエンスルーム			

■小学校就学後の放課後の過ごし方についてお聞きます。

宛名のお子さんが来年4月に小学校に入学される方にお聞きます。

問 23 宛名のお子さんについて、小学校入学後、平日の放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たりの希望日数を記入してください。

また、学童クラブと放課後ほっと広場（ゆうゆうクラブ）の場合は、利用を希望する時間（「18時」のように24時間制で）を記入してください。

※ 児童館で行う学童クラブを利用している場合は、「学童クラブ又は放課後ほっと広場」の欄に記入してください。

※ 「低学年」とは小学校1～3年生、「高学年」とは小学校4～6年生のことをいいます。

		過ごさせたい日数
1. 自宅	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
3. 習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
4. 学校内のクラブ活動、校庭開放	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
5. 放課後まなび教室	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
6. 児童館（学童クラブ以外）	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
7. 学童クラブ又は放課後ほっと広場	低学年の間	週（ ）日くらい （下校時から（ ）時まで）
	高学年になったら	週（ ）日くらい （下校時から（ ）時まで）
8. 放課後デイサービス	—	週（ ）日くらい
9. ファミリーサポート事業	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
10. 友人と遊ぶ	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい
11. その他	低学年の間	週（ ）日くらい
	高学年になったら	週（ ）日くらい

問 24 宛名のお子さんの「土曜日」、「日曜日・祝日」、「夏休み等の学校長期休業中」の学童クラブ等の利用希望について、当てはまる番号に○をつけてください。また利用したい時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）を記入してください。

※ これらの利用に当たっては、一定の利用者負担がかかります。

※ 「低学年」とは小学校1～3年生、「高学年」とは小学校4～6年生のことをいいます。

		利用希望の有無（【 】内は利用したい時間帯）
土曜日	低学年の間	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
	高学年になったら	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
日曜日・祝日	低学年の間	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
	高学年になったら	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
夏休み等の学校長期休業中	低学年の間	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない
	高学年になったら	1. 利用したい【（ ）時から（ ）時まで】 2. 利用希望はない

■育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度についてお聞きします。

問 25－ 1 宛名のお子さんが生まれたときの育児休業の取得について、父母それぞれにつき、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

また、取得していない方はその理由を記入してください。

	父	母
就労していなかった	1	1
取得中である	2	2
取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した	3	3
取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった	4	4
育児休業取得中に離職した	5	5
取得していない	6 ()	6 ()

問 25－ 2 問 25－ 1 で「6」に該当する方（育休を取得していない方）についてお聞きします。

その方が、育児休業を取得していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	父	母
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
仕事が忙しかった	2	2
（産前産後休業後に）仕事に早く復帰したかった	3	3
仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
昇給・昇格等が遅れそうだった	5	5
収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
保育施設等に預けることができた	7	7
配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
子育てや家事に専念するため退職した	10	10
職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11	11
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
産前産後休業（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	14	14
その他	15 ()	15 ()

問 25－3 問 25－1で「2」に該当する方（育休取得中の方）についてお聞きます。その方は、宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育施設等がある場合、1歳になるまで育児休業を取得しますか。次のいずれかの番号に○をつけてください。

	父	母
1歳になるまで育児休業を取得する	1	1
1歳になる前に復帰する	2	2

問 25－4 問 25－1で「3」又は「4」に該当する方（育休取得後に職場復帰した方）についてお聞きます。その方が、育児休業から職場復帰したのは、次のいずれでしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

※ 次の例のような場合も「1」を選択してください。

例① 年度初め（4月）の入所に向け、早めに復帰し、4月の入所までは一時的に認可外保育施設等を利用して対応した。

例② 4月の入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかった。

	父	母
年度初め（4月）の入所に合わせたタイミングに復帰	1	1
それ以外	2	2

問 25－5 問 25－1で「3」又は「4」に該当する方（育休取得後に職場復帰した方）についてお聞きます。その方が、育児休業から職場復帰したときのお子さんの年齢はいくつでしたか。また、希望としては、お子さんがいくつのときまで取得したかったですか（勤務先の育児休業制度の取得可能期間内で記入）。

	父	母
職場復帰したときのお子さんの年齢	（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）歳（ ）ヶ月
希望していた復帰時期のお子さんの年齢	（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）歳（ ）ヶ月

問 25－6 問 25－4で実際の復帰と希望が異なる方についてお聞きます。その方が、希望の時期に職場復帰しなかった理由として、当てはまるものの番号すべてに○をつけてください。

		父	母
希望より早く復帰した方	希望する保育施設等に入園するため	1	1
	配偶者や家族の希望があったため	2	2
	経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
		4	4
	その他（（ ）内に理由を記入してください。）	5 []	5 []
希望より遅く復帰した方	希望する保育施設等に入園できなかったため	6	6
	自分や子ども等の体調が思わしくなかったため	7	7
	配偶者や家族の希望があったため	8	8
	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	9	9
	子どもをみてくれる人がいなかったため	10	10
	その他（（ ）内に理由を記入してください。）	11 []	11 []

問 25－7 問 25－1で「4」に該当する方（育休取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった方）についてお聞きます。その方が、短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	父	母
職場復帰後に退職したので、利用の必要がなかった	1	1
配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、利用の必要がなかった	2	2
職場に制度を利用しにくい雰囲気があった	3	3
仕事が忙しかった	4	4
短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	5	5
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	6	6
職場に制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	7	7
制度を利用できることを知らなかった	8	8
その他（（ ）内に理由を記入）	9 （ ）	9 （ ）

問 25－8 問 25－1で「5」に該当する方（育児休業取得中に離職した方）についてお聞きます。その方が、離職した理由として、当てはまるものの番号すべてに○をつけてください。

	父	母
保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった	1	1
職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった	2	2
制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった	3	3
その他	4 （ ）	4 （ ）

問 25－9 お勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としては何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

父	母
（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）歳（ ）ヶ月

■その他子育てに関することについてお聞きます。

問 26 子育てをしている今の気持ちについて、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. とても楽しい | 2. 楽しい |
| 3. 少し不安又は負担を感じる | 4. とても不安又は負担を感じる |
| 5. どちらとも言えない | |

問 27 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じること、感じるときについて、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 家族のきずなが深まった |
| 2. 他人の子どもや他人に対して優しくなれた |
| 3. 子どもに多くのことを教えられた |
| 4. ものの見方や価値観が変わった |
| 5. 子どもが見出す新鮮な発見が楽しい |
| 6. 家庭の雰囲気になごやかになった |
| 7. 子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など） |
| 8. 子どもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた |
| 9. 子どもが家族のために優しい気配りやお手伝いなどをしてくれたとき |
| 10. 子どもが他の子ども（友だち）のために優しい気配りなどをしてくれたとき |
| 11. その他（ ） |
| 12. 特にない |

問 28 宛名のお子さんを育てていて、日頃不安に感じていることはありますか。各項目について、最も当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	不安ではない	あまり不安ではない	どちらとも言えない	少し不安である	不安である
ア 子どものしつけ	1	2	3	4	5
イ 子どもの教育	1	2	3	4	5
ウ 子どもの教育費	1	2	3	4	5
エ 子どもの遊び	1	2	3	4	5
オ 子どもを遊ばせることができる場所	1	2	3	4	5
カ 子どもを預けられる施設や条件	1	2	3	4	5
キ 子どもの食事や栄養	1	2	3	4	5
ク 子どもの病気や発育	1	2	3	4	5
ケ 子どもの医療費	1	2	3	4	5
コ 子どもの将来	1	2	3	4	5
サ 子どもと接する時間がない	1	2	3	4	5
シ 家族の中での子育て観の違い	1	2	3	4	5
ス 配偶者の子育てへの協力が得られない	1	2	3	4	5
セ 子育てに自信がない	1	2	3	4	5
ソ 育児書どおりにならない	1	2	3	4	5
タ 子育てと自分の生きがいや仕事との関係	1	2	3	4	5
チ 自分に話し相手や相談相手がいない	1	2	3	4	5
ツ 自分の時間、心のゆとりが持てない	1	2	3	4	5
テ 自分の健康	1	2	3	4	5
ト その他（ ）	1	2	3	4	5

問 29 宛名のお子さんを育てるうえで、日頃感じられる不安や悩みを、どこに、または誰に相談していますか。多いもの3つまでの番号に○をしてください。

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 保健福祉センター子どもはぐくみ室 | 2. 児童福祉センター |
| 3. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場） | 4. 児童館 |
| 5. 宛名のお子さんやその兄弟姉妹が通園している幼稚園・保育施設等 | 6. こどもみらい館 |
| 7. 民生委員・児童委員、主任児童委員 | 8. 医療機関 |
| 9. 配偶者・パートナー | 10. 祖父母等の親族 |
| 11. 友人や近隣の住民 | 12. 職場の同僚 |
| 13. 子育てサークル等の仲間 | 14. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間 |
| 15. 電話相談機関 | 16. インターネットの相談・質問サイト |
| 17. その他（ | ） |
| 18. 相談相手がいない | |

問 30 育児休業取得率に代表されるように、子育てへのかかわりについては一般的に母親よりも父親の方が少ないと言われていますが、その理由をどのように考えますか。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 残業や休日出勤が多く、仕事を優先せざるを得ないこと |
| 2. 通勤時間が長いこと |
| 3. 子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと |
| 4. 父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと |
| 5. 父親が育児にかかわることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること |
| 6. 父親が育児にかかわることを特別視する風潮が世間にあること |
| 7. その他（ |

問 31 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に取り組んでほしいと思いますか。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実 |
| 2. 産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実 |
| 3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備 |
| 4. 育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備 |
| 5. 子育ての間は、残業や出張などを免除する制度 |
| 6. 子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度 |
| 7. 子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度 |
| 8. 子どもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度 |
| 9. 事業所内に子どもが預けられる施設等の整備 |
| 10. 育児相談の実施 |
| 11. 出産や育児のために仕事をやめた女性への再雇用制度の充実 |
| 12. 女性の就労継続に対する企業などの理解や支援 |
| 13. その他（ |
| 14. 特にない |

問 32 あなたは、宛名のお子さんと遊ぶ（外出、からだを動かして遊ぶ、トランプ・ごっこ遊びなど全般）機会は、どの程度ありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください。）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 月に1～2日 | 5. めったにない | |

問 33 宛名のお子さんが、朝食、夕食を1週間に何日程度食べているか、誰と食べることが多いかお答えください。(それぞれあてはまる番号に○をつけてください。)

	朝 食	夕 食
① 1週間に何日程度食べていますか (あてはまる番号1つに○)	1 ほぼ毎日 2 週に4～5日 3 週に2～3日 4 ほとんど食べない 5 わからない	1 ほぼ毎日 2 週に4～5日 3 週に2～3日 4 ほとんど食べない 5 わからない
② 誰と食べるが多いですか (宛名のお子さんから見て、あてはまる番号すべてに○)	1 母親 2 父親 3 祖母 4 祖父 5 きょうだい(兄弟姉妹) 6 本人(宛名のお子さん)のみ 7 その他() 8 わからない	1 母親 2 父親 3 祖母 4 祖父 5 きょうだい(兄弟姉妹) 6 本人(宛名のお子さん)のみ 7 その他() 8 わからない

問 34-1 あなたのご家庭では、宛名のお子さんの夕食をつくる(料理(離乳食を含む)する)ことがどの程度ありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------------|
| 1 ほとんど毎日 | 2 週に4～5日程度 | 3 週に2～3日程度 |
| 4 月に数日(休日など) | 5 ほとんどつくらない | 6 まだ食べられない(離乳食前など) |

問 34-2 問 34-1で「4 月に数日(休日など)」, 又は「5 ほとんどつくらない」と回答された方におたずねします。

宛名のお子さんの食事で、最も多いものをお答えください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1 外食 | 2 スーパーやコンビニ等で購入する惣菜, 弁当 |
| 3 インスタント・レトルト食品 | 4 お菓子 |
| 5 親戚, 知人がつくった料理 | 6 わからない |
| 7 その他() | |

問 35 宛名のお子さんには、かかりつけの医師がいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 36 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 37-1 子育てに関して知りたい情報について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・認定こども園・保育施設等に関する情報
2. 1 以外の子育て支援施策に関する情報
3. 民間の子育て援助サービス（ベビーシッター等）に関する情報
4. 子どもと一緒に参加できるイベント情報
5. 医療機関に関する情報
6. 子どもの病気時への対処方法
7. 子どもに関する相談窓口
8. 子育てサークルの情報
9. その他（ ）
10. 特に必要な情報はない

問 37-2 問 37-1 のような子育てに関する情報の入手方法について、多いもの 3 つまでの番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 市民しんぶん | 2. 京都市のホームページ（京都市情報館や各区・支所子ども支援センターのHP） |
| 3. 京都市が発行する子育て応援パンフレット | 4. 保健福祉センター子どもはぐくみ室 |
| 5. こどもみらい館 | 6. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所） |
| 7. 児童館 | 8. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場） |
| 9. 医療機関 | 10. 宛名のお子さんやその兄弟姉妹が通園している幼稚園・保育施設等 |
| 11. 10 以外の幼稚園・保育施設等 | 12. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 13. 電話相談機関 | 14. インターネットの子育て情報サイト |
| 15. 配偶者・パートナー | 16. 祖父母等の親族 |
| 17. 友人や近隣の住民 | 18. 職場の同僚 |
| 19. 子育てサークル等の仲間 | 20. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間 |
| 21. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等 | |
| 23. その他（ ） | |

問 38 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 39-1 子育てサークル等の自主的な活動に参加していますか。

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1. 現在参加している | （→ 問 39-2 へ） |
| 2. 新たに立ち上げたいと考えている | （→ 問 39-2 へ） |
| 3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい | （→ 問 39-2、3 へ） |
| 4. 現在参加していないし、今後も参加するつもりはない | （→ 問 39-3 へ） |

問 39-2 問 39-1 で「1」、「2」、「3」のいずれかを選んだ方にお聞きします。子育てサークル等の自主的な活動をしていくに当たって行政や地域に行ってほしい支援はどのようなものですか。主なもの 3 つまでの番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 活動場所の提供（場所貸し等） | 2. サークルリーダーの育成 |
| 3. 情報発信やPR等に関する支援（掲示板の開放等） | 4. 活動時間中の保育サービス |
| 5. 活動を進めていくうえでの相談や助言 | 6. 活動資金の助成 |
| 7. その他（ ） | 8. 特になし |

問 39-3 問 39-1で「3」又は「4」を選んだ方にお聞きします。子育てサークル等の自主的な活動に参加していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 時間がない（仕事等が忙しいなど） | 2. 身近にサークルや組織がない |
| 3. 身近にサークルがあるのかわからない | 4. 活動や役割が大変そう |
| 5. 人間関係等がわずらわしそう | 6. 既に他の仲間がいる |
| 7. 参加しようとしたが参加者がいっぱい断られた | 8. その他（ ） |
| 9. 特に理由はない | |

問 40 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 身近な問題についての親同士での相談や話しあい |
| 2. 地域が実施する子ども向けの活動（地蔵盆や通学路の見守り活動等）を通じて、地域の大人が子どもにかかわりあうこと |
| 3. 「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション |
| 4. 急用や緊急時に、子どもを預けあえること |
| 5. 子どもの危険な行為やいたずらを注意しあえること |
| 6. 子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配りあうこと |
| 7. 子どもや保護者が集える場所づくり |
| 8. その他（ ） |
| 9. 特にない |

問 41 宛名のお子さんを平日の日中どこで遊ばせることが多いですか。主なものの番号1つに○をつけてください（幼稚園・保育施設等に通っている場合は、それ以外の時間の状況について）。

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 1. 公園・ちびっこひろば | 2. 家の近くの路地や道路 |
| 3. 自宅 | 4. 子どもの友人宅 |
| 5. 親戚や知人宅 | 6. 児童館 |
| 7. こどもみらい館 | 8. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場） |
| 9. 図書館 | 10. その他（ ） |

問 42-1 宛名のお子さんと外出する際の移動方法について、最もあてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------|-----------|--------|
| 1. 自動車 | 2. 公共交通機関 | 3. 自転車 |
| 4. ベビーカー（三輪車を押して移動する場合も含む） | 5. 徒歩 | |

問 42-2 問 42-1で「3」、「4」、「5」のいずれかを選んだ方にお聞きします。

問 42-1で選択された方法で移動される場合の平均的な移動距離を記入してください。

m

問 43 宛名のお子さんと外出する際に、困ること・困ったことについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差等がベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備が少ないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ないこと
7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと
8. 緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりとうるおいが少ないこと
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害の防止対策が少ないこと
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる
11. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに、手を貸してくれる人が少ないこと
12. その他（ ）
13. 特に困ること・困ったことはない

問 44 平成19年2月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてお聞きます。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
| └─(1) 実践していると思う | └─(1) 今後、実践したいと思う |
| └─(2) 今後、実践したいと思う | └─(2) 関心がない |
| └─(3) 関心がない | |

<参考>子どもを共に育む京都市民憲章

わたしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日（育児ニコニコ笑顔の日）制定

3月13日 京都市会が憲章を積極的に推進する決議

問 45 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを期待しますか。最も当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 妊娠・出産の支援の充実
2. 子どもの健康や医療に関する施策の充実
3. 保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援施策の充実
4. 教育環境の整備
5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実
6. 仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進
7. 子育てに関する相談体制の整備
8. 交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実
9. その他（ ）
10. 特になし

問 46 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いもの1つに○をつけてください。

	そう 思う	少し そう 思う	どちら とも 言え ない	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
安心して出産できる環境である	1	2	3	4	5
乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	1	2	3	4	5
身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる	1	2	3	4	5
必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	1	2	3	4	5
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）の時に、必要な支援を受けられる環境である	1	2	3	4	5
障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行なわれている	1	2	3	4	5
子どもがいても仕事と生活は両立できる環境である	1	2	3	4	5
子育てに不安を感じたとき気軽に相談できるところがある	1	2	3	4	5
子どもへの教育環境は充実している	1	2	3	4	5
青少年が健全に育つ環境である	1	2	3	4	5
身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	1	2	3	4	5

問 47 安心して子どもを生み、子どもを健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、以下の選択肢から選択いただいたうえで、自由記載欄にご自由にお書きください。

1. 妊娠・出産に係る施策について
2. 子どもの健康や医療に関する施策について
3. 保育園（所）、認定こども園や幼稚園に係る施策について
4. 保育園（所）、認定こども園や幼稚園以外の子育て支援施策について
5. 就学後の学童クラブ等の子育て支援施策について
6. 教育環境について
7. 子育て世帯に対する経済的支援について
8. 仕事と子育ての両立支援と働き方について
9. その他（

(自由記述)

[illegible]

問 48 この調査票に記入されている方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。

1. 父 2. 母 3. その他 ()

お忙しいところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。
この調査票は、平成30年 月 日（ ）までに、
同封の返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。

● 用語説明

※ アンケートにご回答いただく際にご参照ください。

用 語	説 明
あ	
預かり保育（幼稚園で実施されるもの）	幼稚園における正規の教育時間（平日の概ね9時から14時の開園時間）の前後や、土日祝日・長期休業期間中に、保護者の希望に応じて、幼稚園において在園児を預かる仕組みをいいます（市内ほぼすべての私立幼稚園で実施）。
一時保育事業	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育、保護者の傷病等による緊急時の保育、保護者のリフレッシュを図るための一時的な保育を実施します。（市内56箇所の保育園（所）または認定こども園で実施）
延長保育事業	保護者の方の長時間就労等に対応するため、保育施設等が定めた1日11時間（保育短時間認定の方は1日8時間）の開園時間を超えて保育を実施します。
か	
学童クラブ事業	保護者の就労等で昼間留守になる家庭の小学生のお子さんを対象に、児童館・学童保育所で放課後安全に保護し、かつ、健やかに育成する事業です。
休日保育事業	保護者の就労等により、日曜、祝日等において、家庭で保育できないお子さんをお預かりし、保育園（所）で保育を実施します。（市内7箇所の保育園（所）または認定こども園で実施）
子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）	子育て中の親子（主に乳幼児を育てている親とその子）が気軽につどい、交流できる場を提供しています。子育てアドバイザーが常駐し、専門的な観点から子育て相談に応じるほか、子育て講座等の事業も行っています。（市内34箇所で実施）
子育て支援総合センター こどもみらい館	子育て支援の中核施設として、乳幼児の子育てを支援するため、各種の子育てに関する相談や子育て講座等を実施しているほか、乳幼児の親子と一緒に遊べる「こども元気ランド」や、子育てに関する図書や絵本等の閲覧・貸出しを行う「子育て図書館」があります。（市内で中京区に1箇所）
子育て支援短期利用事業 （ショートステイ）	保護者の方の入院や通院（病気、出産）、あるいは冠婚葬祭や出張等により、一時的に家庭で子どもがみられなくなったとき、小学校修了前までのお子さんを、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設で一定期間養育する事業です。（市内2箇所の乳児院、8箇所の児童養護施設、1箇所の母子生活支援施設で実施）
こども虐待 SOS 専用電話 （24時間・365日対応）	児童虐待をいち早く発見し、対応するため、また「子どもを叩いてしまいそう」といった悩みにいつでも応じられるよう、児童虐待に関する通告・相談専用電話（801-1919）を設置しています。
子ども支援センター （区役所・支所保健センター）	お住まいの地域の子どもと子育て家庭に関する総合相談窓口として、各区役所・支所に設置されています。お子さんに関して気がかりとなっていることや子育てに関する不安や悩み等の様々な相談に応じているほか、地域の子育てに関する様々な情報の提供等を行っています。

用 語	説 明
さ	
事業所内保育事業所	企業や病院等において、その従業員の乳幼児を対象として保育を行う施設の総称です。従業員の子どもと共に、従業員以外の地域の子どもを受け入れることにより、京都市から認可され運営費が払われている施設もあります。また、平成28年度からスタートした企業主導型保育事業（国直轄事業）により国から助成を受けている事業所もあります。
児童館	18歳未満の児童に健全な遊びの機会を提供し、健康の増進と情操を豊かにするために設置された児童福祉施設です。子育て家庭への支援や児童に関する地域の活動センターとしての取組等も行っています。
児童館での乳幼児クラブ・母親クラブ	乳幼児クラブでは、乳幼児と保護者の方が一緒に参加できるプログラムとして、一緒に遊びながら、親子のきずなを強める取組や保護者同士での子育ての仲間づくりに向けた取組を行っています。 母親クラブでは、お母さん方の交流を図りながら、手作りの人形劇・パネルシアターを上演する等、地域の子どもたちのための活動を児童館と協力しながら行っています。
児童福祉センター（児童相談所）	児童福祉法に基づく行政機関として設置されている児童相談所を中心に、障害のある子どもへの療育等を行う各種施設などが併設されています。センターでは、子育ての不安、発達の遅れ、障害、不登校、非行、子どもを家庭で育てられないなど、子どもに関するさまざまな相談に応じています。また、児童虐待の相談や通告も受け付けています。（市内に2箇所）
小規模（家庭的）保育事業所	保護者の方の就労や病気等（保育園（所）と同じ条件）により家庭で保育できない主に3歳未満のお子さんを対象とした、定員が6人以上19人以下の少人数での保育を行う事業所です。（小規模保育事業所は市内に113箇所、家庭的保育事業所は市内に1箇所）
た	
地域子育て支援ステーション	身近な地域における子育て相談・ネットワークの拠点として、すべての保育園（所）・認定こども園・児童館を「地域子育て支援ステーション」に指定し、子育て講座等の開催や子育てに関する情報提供など、子育て中のご家庭に気軽に利用していただけるよう様々な取組を行っています。
な	
認可外保育施設	児童福祉法に基づく認可を受けていない保育施設の総称です。店舗において専ら顧客が一時的に利用するために設置されるもの等の一部の例外を除き、原則として京都市への設置の届出が必要です。
認定こども園	小学校入学前のお子さんに幼児教育と保育を一体的に提供する機能（幼稚園と保育園（所）の両方の機能）を備えた施設で、保護者からの相談に応じたり、子育て情報を発信するといった、地域における子育て支援事業を行うことが義務付けられています。（市内34施設）

用 語	説 明
は	
病児・病後児保育	病氣中・病氣回復期のお子さんがいる方で、仕事等の都合で家庭での育児ができない方のために、医療機関に付設された施設で一時保育を行っています。（病児・病後児保育 市内５施設、病後児保育 市内１施設）
ファミリーサポート事業	育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助をしたい人（提供会員）とが会員となって、保育施設までの送迎や、買い物などで外出の際にお子さんを預かるなど、市民の方が互いに助け合う子育て支援事業です。
保育園（所）	児童福祉法に基づき認可・設置される児童福祉施設で、保護者の就労、病氣や親族の介護等で、家庭でお子さんを保育できない場合、家庭に代わってお子さんを保育します。（市内に２２９箇所の民営保育園と１７箇所の市営保育所があります。
保育施設等	保育園（所）・小規模保育事業・家庭的保育事業・事業所内保育事業（児童福祉法に基づき認可・設置される児童福祉施設・事業）の総称です。
放課後ほっと広場	児童館等による学童保育を実施していない地域において、保護者の就労等で昼間留守になる家庭の低学年児のお子さんを、放課後安全に保護し、かつ、健やかに育成するために、小学校内で「学童クラブ機能」を有する事業を実施しています。
放課後まなび教室	学校施設を活用し、地域や保護者、学生等の参画を得ながら、放課後の子どもたちに、学習の習慣づけを図る「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を提供する取組です。市内の全小学校区で原則としてその小学校に通学する子どもたちを対象として実施しています。
ま	
民生委員・児童委員	学区ごとに選出され、担当する地域において、それぞれの委員が住民の方々の立場に立って、福祉に関する相談・援助活動に携わるとともに、地域の関係機関・団体やボランティアの方たちと協力して、地域福祉のネットワークづくりに努めています。 なお、民生委員・児童委員の中には、児童や子育てに関わる問題を専門的に担当する主任児童委員がいます。
や	
幼稚園	学校教育法に基づき認可・設置される教育機関で、３歳から５歳児のお子さんに学校教育を行います。（市内に１５箇所の市立幼稚園と９３箇所の私立幼稚園（いずれも休園中を除く。）及び１箇所の国立幼稚園があります。）

（施設数等は、平成３０年６月１日現在）